

坂内諸家地区砂防堰堤 流木対策工事完成披露会

6月16日(土)、坂内諸家地区内で、「品又谷第1砂防堰堤・品又谷第2砂防堰堤流木対策工事 完成披露会」が行われました。

本工事は、品又谷第1・第2砂防堰堤の流木補足効果を高めるために平成27年9月に着工されたもので、今回の完成に伴い、諸家地区の住民の皆さんのみならず、下流域の住民の皆さんにも安全で安心な生活の確保に寄与する施設となりました。

披露会には、管理者の国土交通省越美山系砂防事務所や地域住民、工事関係者約50人が参加し、町長は「砂防は町だけでなく国土を守ること。山と川を守るこの事業に感謝したい。」とあいさつしました。

今後、減災のためのインフラ整備を進めていきます。



▲完成披露会後の関係者による集合写真

夜叉ヶ池山開き

6月30日(土)、坂内川上の夜叉ヶ池登山口駐車場で、夜叉ヶ池の山開きと今年1年の登山者に対する安全祈願祭が行われました。

安全祈願祭では、町長が「夜叉ヶ池は伝説の池として人気があり、毎年多くの方が訪れている、町の大きな財産である。新緑から紅葉までの景色を今日から楽しんでいただきたい。」とあいさつしました。

安全祈願祭の後、山開きを待ちわびた多くの登山者が、山岳警備隊から登山届の必要性が書かれたチラシを受け取り、神秘的な夜叉ヶ池を目指し、新緑の景色を楽しみながら元気よく登って行きました。

なお、夜叉ヶ池登山は、毎年降雪がある11月上旬まで楽しむことができます。



▲山岳警備隊から登山届の説明を受ける登山者

「夢の教室」 夢をもち努力する大切さを学ぶ

7月9日(月)から13日(金)まで、町内小学校5年生と中学校2年生を対象とした「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』」が開かれました。

この事業は、夢をもつことやその実現に向けて努力することの大切さ、仲間と協力することの大切さを子どもたちに伝える目的で、日本サッカー協会から講師を招いて実施しています。

11日(水)は、谷汲小学校において、谷汲小学校と坂内小学校の児童を対象に夢の教室が開かれました。この日の「夢先生」は、サッカー元日本代表の前田治(あむら)さんが務めました。前半はチームワークの大切さを学ぶゲームで心と体をほぐし、後半は前田さんが夢を実現するまでの体験談を聞きながら、自分の夢について考えました。前田さんからは楽しく一生懸命に取り組むことの大切さも学びました。



▲夢先生(中央)と一緒にゲームを楽しむ子どもたち

交通安全人波作戦

7月11日(水)、胥永地区区長会および揖斐地区交通安全協会胥永支部は、夏の交通安全県民運動の一環として、養老鉄道揖斐駅前の国道417号線沿いで交通安全人波作戦を実施しました。

胥永地区の住民など約60名が参加し、駅の利用者や通学・通勤者に交通安全を呼びかけました。

交通安全人波作戦を主催した胥永地区区長会の大郷代表区長は、「揖斐駅周辺は、特に朝と夕方、車による送迎や、歩行者、自転車の利用者で混雑する場所であり、今回の人波作戦で多くの地域住民による効果的な啓発活動が実施できた。」と話されました。



▲人波作戦の様子

小学生県外派遣団認定式

7月13日(金)、揖斐川町役場で小学生県外研修派遣事業の認定式が行われました。

今回の研修は、揖斐川町と友好都市提携を締結している北海道芽室町に12人の児童が、地域に開かれたダム全国連絡協議会などで交流を深めている高知県宿毛市に、8人の児童が参加します。

今年で16回目の派遣となる芽室町では、児童が大規模農業などを体験し、同じく8回目の派遣となる宿毛市では、漁業などを体験します。

なお、この研修により、地域の人々との交流を深めることで、感性豊かな児童を育成し、将来の揖斐川町の人づくりに寄与することを期待します。



▲認定証を受けとる児童

来館者150万人達成!

7月14日(土)、春日六合地内のかすがモリモリ村リフレッシュ館で、また、7月17日(火)、東横山地内のいび川温泉「藤橋の湯」でいずれも来館者が150万人を達成し、記念式典が行われました。

かすがモリモリ村リフレッシュ館は平成9年4月に開館し、21年での達成、いび川温泉「藤橋の湯」は平成19年4月に開館し、11年での達成となりました。記念式典では、富田町長から150万人目の来館者に食事券や地元産のコシヒカリなどの記念品が贈られ、関係者とともにくす玉を割って達成を祝いました。



▲かすがモリモリ村リフレッシュ館での記念式典



▲いび川温泉「藤橋の湯」での記念式典

ロシア・イワノフカ少年少女合唱団が町長を表敬訪問

7月4日(水)、NPO法人ロシアとの友好・親善をすすめる会(東横山・横山周導理事長)の招きにより、地域交流センターはなももで開催される日露交歓コンサートに合わせて来町した、ロシア・アムール州イワノフカ村のオリシエフスカヤ村長とイワノフカ少年少女合唱団など13人が町長を表敬訪問しました。

合唱団は北方小学校を訪問し、揖斐川町とイワノフカ村との交流を深めました。



▲ロシア・イワノフカ少年少女合唱団の訪問団

フランス・サンシール日仏友好協会が町長を表敬訪問

7月17日(火)、神戸市日仏協会主催の「パリ祭」に合わせて来日した、フランス・サンシール市のサンシール日仏友好協会(上南方・保井円会長)代表団15人が町長を表敬訪問しました。代表団は揖斐川町に到着後、ヤナでの昼食や大和神社での旅行安全祈願、桂地区の茶畑を散策するなど、揖斐川町を満喫されました。

今後、揖斐川町とサンシール市との交流が期待されます。



▲フランス・サンシール市からの訪問団

北海道芽室町の児童が来町

7月26日(木)、揖斐川町と友好都市提携を締結している北海道芽室町の小学生派遣団14人が町長を表敬訪問しました。

派遣団は、揖斐川町に28日(土)まで滞在し、27日(金)には清水小学校を訪れ、お互いの町と小学校の紹介を発表するなどして交流しました。

その他には、谷汲山華厳寺の参拝やいび茶販売施設でのお茶の入れ方講座、歴史民俗資料館の見学、徳山ダムの見学、木工体験など町内各地で研修を行いました。小学生派遣団は、厳しい暑さに負けず揖斐川町を満喫しました。



▲北海道芽室町からの訪問団

夜叉ヶ池伝説マラニック

7月28日(土)と29日(日)の2日間、夜叉ヶ池伝説になぞらえて、夜叉姫ゆかりの神戸町から坂内の夜叉ヶ池までを往復する「夜叉ヶ池伝説マラニック」が開催されました。

コース延長が13.5kmという過酷を極めたこの大会には、今年も全国から多数の参加がありました。

初日は、神戸町役場をスタートし、揖斐川沿線を走り、坂内広瀬の遊らんど坂内を目指しました。

2日目は、早朝に坂内広瀬の坂内交流センターをスタートし、悪天候のため、坂内川上の坂内バイクランドで折り返してゴールの神戸町役場を目指しました。

なお、28日(土)に同時開催の夜叉ヶ池伝説道中まつりは台風12号の影響で中止となりましたが、スタート前には、龍神の舞が披露され、参加者の気持ちを高ぶらせていました。



▲スタート前に披露された龍神の舞

いびがわの祭り
「ありがとう花火」

8月4日(土)、いびがわの祭りが開催されました。

朝からは町内各地で、揖斐川町商工会によるバザーが行われ、夕方からは、「屋台村」や「民踊流しおどり」、「行灯かざり」が行われるなど、多くの人で賑わいました。

また、祭りの最後を飾る「ありがとう花火」では、みんなの願いや感謝をこめてシールに書いて貼った花火玉が、皆さんから寄せられたメッセージとともに、いびがわの夜空に打ち上げられると会場に訪れた35000人を魅了していました。



▲いびがわの夜空を彩った打ち上げ花火



▲花火の打ち上げ会場に向かう人で賑う屋台周辺

お葬式のトラブルや後悔のほとんどは「正確な情報を知らないこと」が原因です

家族葬・お葬式のことがよくわかる資料を2冊無料で差し上げます

- これ1冊でお葬式がわかる!『お葬式・サービスの手引き』
 - マンガでわかる!『喪主になる前に知っておきたいお葬式の大切な話』
- 下記までお電話でご請求ください



有
料
広
告
欄

メモリアホールディングス 松岡屋葬儀社

年中無休 24時間365日



0120-091-091

本社/大垣市小野 3-47-1